

公益社団法人三州倶楽部
第6回特別委員会会議録

日時	平成28年6月15日(水) 17時～19時
出席者	上野座長、小森座長代理、(委員) 内田、川人、神田、塩田、畠山、浜岡、牧之内、松元、三宅 (監事) 新徳 事務局 宮本
議題	特別委員会各ワーキンググループ(WG)の進捗状況等
配付資料	第6回会員増強WG議事録、世界鹿児島県人会準備資料、地方創生WG活動報告書
検討内容 各委員説明・発言	<p>1. 会員増強WG 川人ヘッド説明 (会員資格) 血縁を原則とするも会員増強の観点から地縁も対象として検討する。但し地縁を定義することが難しく、その適用にあたっては時の理事会の判断とし、その事例を蓄積して後世の判断資料とする。</p> <p>(準会員制度) 次の2案を検討 (1案) 正会員の内、40歳以下若しくは女性会員の会費を半額とする。 (2案) 正会員とは別に、会費半額で議決権を有さない準会員制度を設ける。 (主な発言等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地縁に他県出身の育英助成金授与者を含めてもらいたい。 ・海外転勤及び長期療養等の事情による退会を想定すると、休会規程の検討が必要。 ・学生の会費を安くして入会を促し、卒業後正会員になってもらうのはどうか。→いままで講演会等行事への学生の参加は少なく厳しいか。若年層対象の魅力ある事業の実施が有効。 ・女性会員の会員区分や準会員制度は、慎重な検討が必要。 ・WGの結論は、特別委員会→事業企画委員会→理事会に諮った上で、実行は常任委員会が担う。 <p>2. 地方創生WG 内田ヘッド説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島産業支援センターは、同センターが国の助成金を得て行う総務、経理、営業等のプロフェッショナルを求める県内企業と、プロフェッショナルな能力を持つ人材のマッチング支援の手助けを当倶楽部に期待している。その人材名簿作成等多大な労力を要し県の協力も得て具体的に詰めなければならない。そのほかWGでは経済団体の会合に講師を派遣する事業の提案もある。 ・地方創生の一環として、鹿児島の「健康医療基地」構想を説明。(飯山委員) (主な発言等)

	<ul style="list-style-type: none"> ・地元のニーズを聞くことが肝要。例えば健康医療など地元のニーズに沿ったテーマでシンポジウムを開いたらどうか。 <p>3. 国際提携 WG 浜岡ヘッド説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外鹿児島県人会宛て「世界鹿児島県人会開催予定のお知らせ」書面に基 づき説明。 開催時期：2018年9月開催予定 開催場所：鹿児島市、東京 でウェルカムパーティ ・事務局 鹿児島県、鹿児島商工会議所（全国鹿児島県人会事務局） (主な発言等) ・実行委員会事務局の三州倶楽部と県庁の役割分担を明確にしておく必要が ある。 ・実行委員会事務局は、当初三州倶楽部が中心となるものが、現状県庁が中 心となり当倶楽部は助言をする立場に変わったと理解していいか。 →鹿児島での本大会は県庁が中心となり、ウェルカムパーティは三州倶楽 部が中心となる。
日 程	<p>今後の特別委員会日程、7月20日、8月31日、9月28日 何れも水曜日の 17時開催</p>